

2020年12月15日

保護者の皆様

常翔学園中学校・高等学校

校長 北尾 元一

新型コロナウイルス感染症の陽性判定が出た場合の対応について（お願い）

平素より本校教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、現在、大阪府下ではほぼ毎日、複数の学校において児童生徒や教職員がPCR検査を受けている状況が続いています。先日、保護者の皆様と生徒の皆さんへは「新型コロナウイルス感染症対策について（お願い）」という文書を配付し、さらなる感染対策の協力をお願いをしましたが、今回は、万が一、学校関係者がPCR検査等において「陽性」判定が出た場合について、あらかじめお知らせします。

<生徒・教職員などが「陽性」になった場合>

濃厚接触者調査について

保健所の指示のもと学校が調査を行う場合、保健所に該当生徒の住所や連絡先なども伝えることとなります。ご了承ください。

- 発熱などの症状が出た日から遡って3日の期間(発症日を含む)について調査を行います。
- 調査の結果、保健所から「濃厚接触者」と判定された場合、「自宅待機（出席停止）」になります。PCR検査が「陰性」であったとしても、2週間の自宅待機となります。

上記調査の際には、限られたクラスメイトやクラブ部員に、本人へのヒアリングに基づきある程度の個人情報を伝えることとなります。(他校において、何も伝えずに濃厚接触者の調査をしたため、SNS上で不安と憶測による誤った情報が流れ、かえって人権を守れない事例がありました)。その際には最小限の情報共有に努め、決して情報拡大につながらないように細心の注意をはらって参ります。感染による偏見、差別につながらないように、関係者の人権尊重と個人情報の提供には特段のご理解とご配慮をお願いします。

臨時休校について

発生状況を踏まえ、全面休校以外に一部休校（学年単位、学級単位等）措置を行う場合もあります。

<生徒の同居者（保護者など）が「陽性」になった場合>

同居の生徒は「濃厚接触者」となり、検査の結果「陰性」であっても、原則2週間は自宅待機となります。ご在住の保健所の指示に従ってください。

以上